

催吐リスク Moderate

腸 (BEV7.5+L-OHP130)d1+S-1/d1-14)c21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤	経口		mg		1-14
			mg		
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg	生食 100 mL	30 1
アバスチン		7.5	mg/kg	生食 100 mL	15 1
エルプラット		130	mg/m ²	5%糖液 250 mL	120 1
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

II. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)白血球数 $\geq 3,000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ 、血小板数 $\geq 75,000/\text{mm}^3$ 、AST・ALT $\leq 100\text{U/L}$ (肝転移症例は $\leq 200\text{U/L}$)、血清クレアチニン $\leq 1.5\text{mg/dL}$ 、感染を疑う 38°C 以上の発熱がない、下痢・粘膜炎/口内炎 $\leq \text{Grade}1$ 、神経障害(感覚性) $\leq \text{Grade}2$ 尿蛋白 $\leq 1+$ もしくは24時間蓄尿にて蛋白尿が $\leq 2\text{g}$ 、出血 $\leq \text{Grade}1$

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

ティーエスワン

以下の基準に該当する場合、1段階ずつ減量する。最大2段階までの減量とし、それ以上の減量が必要な場合もしくは最低投与量を超える場合は休薬する。(120→100→80→60→50mg/day)

白血球数 1,000/mm³未満、好中球数 500/mm³未満、発熱性好中球減少 Grade3 以上、
血小板数 50,000/mm³未満、下痢 Grade3 以上

オキサリプラチン

以下の基準に該当する場合、1段階ずつ減量する。最大2段階までの減量とし、それ以上の減量が必要な場合は休薬する。(130→100→75mg/m²)

白血球数 1,000/mm³未満、好中球数 500/mm³未満、発熱性好中球減少 Grade3 以上、
血小板数 100,000/mm³未満

ペバシズマブ

減量の基準はなし。ただし、以下の基準に該当する場合、中止する。

血栓/塞栓症 \geq Grade3、消化管穿孔 \geq Grade1、出血 \geq Grade3、
高血圧 \geq Grade3(薬剤でコントロールできないもの)

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)

・SOX 療法 G3 以上の副作用

(Yamada et al. BJC 98 1034-1038 2008)

n=31 血小板減少 27%、好中球減少 14%、貧血 3%、下痢 3%、アレルギー反応 3%

(Zang et al. Ann Oncol 20 892-896 2009)

n=48 血小板減少 13%、好中球減少 10%、貧血 6%、高ビリルビン血症 2%

・SOX+BEV の報告はない

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)